

平成27年 新年のご挨拶



揖斐川町長
宗宮 孝生



輝かしい新春を迎え、町民の皆さまにとつて、本年も良い一年でありますように、心からお祈り申し上げます。

昨年は、町にとりまして合併10年の総仕上げの年と位置づけ、「ずっと住みたい町 いびがわの背骨づくり」をテーマに掲げ、町政運営に取り組んでまいりました。また、それらを実現するため「子育てしやすい子どもが元気な地域づくり」「あらゆる災害に強い安全な地域づくり」「人々が集い交流できる地域づくり」の3つの柱を重点施策として、進めてまいりました。

私が、町づくりを進める上で最も重視することは、揖斐川の未来を担っていたただけ子どもたちを大切に

育てて行こうという事です。その為、子育てしやすい環境づくりを目指し施策を行っております。

その一つとして、働く保護者の皆さまの負担を少しでも軽減できるように、昨年4月に、揖斐厚生病院内に揖斐川町病児・病後児保育室「いびっこ」を開設いたしました。更に10月には、乳幼児期、未就学児の発達相談や発達支援を行う児童発達支援事業所「いびがわアップル」を子育て支援センター内に開設いたしました。私は、子どもたちの笑顔が、私たち大人の活力を生み、地域の活性化につながるものと確信しております。

次に、防災対策につきましては、昨年はゲリラ豪雨などと呼ばれる集

中豪雨が多い年でもありました。7月の台風8号において、揖斐川町でも土砂災害の危険が高まったことから、一部の地域に避難勧告を発令いたしました。幸い大きな被害は発生いたしませんでしたが、揖斐川町は、急峻な地形と多くの山間地域を有することから、日頃の備えとして、昨年、土砂災害ハザードマップを各家庭にお配りいたしました。また、あらゆる災害に備えるために、土砂災害防災訓練や災害から命を守る総合防災訓練、そして原子力防災訓練を町民総参加のもと毎年行っております。町民の皆さま一人一人が、自らの命を守るための「自助」、地域が一体となって守る「共助」の精神を高めて頂き、安全・安心な町づくりを進めてまいります。

併せて、災害時の避難・緊急輸送ルートとなる国道417号「横山鶴見バイパス」、国道303号「鉄嶺トンネル」や揖斐川町と福井県池田町を結ぶ「冠山トンネル」の福井県側からの工事が着工し、インフラ整備も計画的に進められております。これらの路線は、観光の面においても日本海からの潮風と共に人や物の行き交う観光ルートとして期待できます。

また、現在は東海環状自動車道に

接続する都市計画道路「大野揖斐川線」の整備も進めており、完成すると岐阜市や大垣市、名古屋市など都心部へのアクセスが飛躍的に向上いたします。

近年、少子高齢化や人口減少が大きな問題として取り沙汰されております。

都市への過剰な人口流出が地方での人口減少を招き、地域の活力が失われるなど、様々な課題が浮き彫りとなるなか、国では、人口減少を克服し将来にわたって活力ある日本社会を実現するための「まち・ひと・しごと総合戦略」を策定することとなりました。

揖斐川町でも、町ならではの資源や、よさを生かすアイデアを出しながら、将来にわたって持続可能で活力のある町を目指し「いびがわのまちづくり総合戦略」を創り上げてまいりたいと考えております。併せて、次の10年のまちづくりの羅針盤となる第2次総合計画の策定に着手いたしました。町民の皆さまと「共に考え」「共に歩み」そして「共に創る」住民協働のまちづくりを基本に、町づくり住民会議やいびがわ未来づくり会議を開催するなど、多くの町民の皆さまから貴重なご意見をいただ

き、さらに「いびがわの背骨づくり」を充実させ、総合計画策定に活かしてまいりたいと考えております。

また、秋には、「第39回全国育樹祭」が谷波の地で開催されます。全国育樹祭は、全国植樹祭で天皇后両陛下がお手植えをされた樹木を、皇太子同妃両殿下がお手入れされる国民的な行事であります。揖斐川町では、昭和32年に昭和天皇・香淳皇后両陛

下がお手植え、お手播きされた樹木を、昭和51年に今上天皇が皇太子の時代にご覧になっており、そして、今回、皇太子殿下にお越しいただく3世代にわたってとのこととなります。町としては、大変光栄なことであり、合併10周年にふさわしい行事であります。町民の皆さまとともに、お迎えしたいと思います。最後にありますが、本年は合併10

周年の記念すべき年であります。町民の皆さまとともにお祝いするとともに、今後も、時代の変化を的確に捉えながら、新たな未来に向けて、更なる進化を図っていく所存でございます。

どうか本年も、町政に対する変わらぬご支援と、ご協力を賜りますようお願い、心からお願ひ申し上げ、年頭のご挨拶いたします。



揖斐川町議会議長

錦野悦朗

新年あけましておめでとござい

ます。町民の皆様におかれましては、ご家族おそろいで輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は、町議会に対しまして、格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、かつては地方の課題であった少子高齢化による急速な人口減少は、都市部へも広がりを見せ、全国

的な社会問題となっております。

このため、国においては、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくための「地方創生」に関する施策を総合的かつ計画的に実施していくこととされていま

す。まもなく合併10周年を迎える揖斐

川町にとりましても、この地方創生は喫緊の課題であり、現在策定作業を進めております第二次総合計画の根幹をなすものであります。

このような状況下、当町をとりまく財政状況は比較的健全財政を維持しておりますが、平成27年度からは地方交付税が段階的に削減され、危機感をもった財政運営が一層求められています。私どもは、皆さんからの声を的確に町政に反映させ、皆さんがこの町に住んでよかつたと実感し、よその人々には、揖斐川町にぜひ住みたいと思わせるような地域づくりに取り組んでいくことが、今年も私たちに課せられた大きなテーマだと考えております。

また、原子力防災や地震、土砂災

害対策など身近な緊急課題につきましても全力で取り組み、安心して暮らせるまちづくりを推し進めてまいりたいと存じます。

本年秋には、第39回全国育樹祭が谷波地区で開催されます。三世代にわたって皇族にお越しいただけるといふ大変名誉なことであり、町民総参加でおもてなしの輪を広げようではありませんか。

どうか今年も、町議会に対しまして一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、町民の皆様にとりまして、幸せ多い年でありますよう、議員一同、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶いたします。